

平成30年2月10日 阿南市ひまわり会館

あなん未来会議特別講演会

主催 あなん未来会議、阿南市、阿南工業高等専門学校



日和佐中学校
チゴガニのウェーピングの研究発表



古田尚也（大正大学）
パネリスト

あなん未来会議 長谷川委員による特別講演会を開催（第5回阿南市生物多様性フォーラムと共催）

阿南市では3年前に生物多様性のシンボルとして希少な生物が生息する地域（市内6カ所）をホットスポットとして策定したことを契機に、その保全と活用を目指したフォーラムを開催しています。本年は、あなん未来会議が共催し、人材育成の取り組みとして長谷川委員（東邦大学教授）が講演を行いました。

生き物に興味を持ったきっかけや伊島に住む貴重なヘビやカエル、生き物の生態を研究することが未来への近道など、興味深い話に会場に詰めかけた多くの聴衆が聞き入っていました。また、中学生や高専生による

研究発表、ホットスポットで保全活動続ける団体や企業の事例発表、さらにパネルディスカッションではIUCN（国際自然保護連合）の古田尚也教授も加わり、今後の活動について活発な意見交換が行われました。



互いのホットスポットでの活動が発表された

